



年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

公益財団法人全国市町村研修財団の運営につきまして、旧年中に賜りましたご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

昨年は、台風19号をはじめとした度重なる台風の襲来による風水害など、各種の自然災害に直面し、現在も、その復旧・復興にご尽力されている方々が多くいらっしゃるかと存じます。そうした皆さまに敬意を表しますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

また、各自治体におかれては、被災自治体への職員派遣など、様々なご支援をいただいておりますことに、厚く感謝申し上げます。

さて、市町村を取り巻く環境は、人口減少と少子高齢化のさらなる進行、大規模自然災害の頻発、第4次産業革命の到来など、引き続き大きく変化し、地域社会の課題は多様化してきています。

そうした中で、市町村では、的確な分析力と長期的な政策の立案能力を備え、地域の実情を踏まえた施策を構築し、着実に実施していかなければなりません。そのためには、これまで以上に意欲と能力・実力を兼ね備えた職員が求められます。

当財団では、市町村アカデミーと国際文化アカデミーにおいて、市町村職員はもとより、首長、議員等を対象とした専門性の高い最先端の英知・情報を提供する研修を行っており、両アカデミーを合わせますと受講者は延べ26万人を超え、そのネットワークは全国に広がっております。

引き続き、時代の変化に対応し、地域の活性化、住民福祉の向上、暮らしの安全・安心の確保など、多種多様な課題に適切に対応していくことができるよう、地域社会を担う人材の育成に全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和初めての新年を迎え、新しい時代がより明るく希望に満ちあふれたものとなりますよう祈念して、年頭のごあいさつとさせていただきます。

公益財団法人 全国市町村研修財団

理事長

立谷 秀清

(全国市長会会長 福島県相馬市長)